

Superfund

スーパーファンド・ジャパン



ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託(円建て、米ドル建て)

■ お申込みは



ひまわり証券
sec.himawari-group.co.jp

ひまわり証券株式会社
関東財務局長(金商)第150号(金融商品取引業)

■ 管理・運用は

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング(ケイマン)リミテッド

SUPERFUND
THE FUTURE OF INVESTING

お申込みの際は、必ず「目論見書」をご覧ください。

■本資料は本ファンドの代行協会により作成された販売用資料であり、金融商品取引法に基づく法定の開示資料ではありません。■本資料は信頼できる情報に基づき作成しておりますが、その内容の正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本資料内で示された過去の実績等は、将来の市場環境やファンドの値動き等を示唆・保証するものではありません。■本ファンドは価格変動のある有価証券等に投資をしますので、ファンドの1口当たりの純資産価額の変動により投資元本を割り込む恐れや、場合によっては投資金額全額を失う恐れがあります。また、ご負担いただく各種手数料等がございます。投資のご判断の際には、必ず目論見書等を十分にご確認の上、ご自身のご判断をお願いいたします。■本ファンドの発行する外国投資信託受益証券の取得は、その投資元本が保証されたものではなく、預金保険機構の保護対象ではありません。



Superfund



「マネージドフューチャーズ・ファンドは、
これまでその利点が十分には認識されていない資産クラスの1つです。
私は個人投資家と機関投資家の双方に対して、
マネージドフューチャーズ・ファンドを均衡化ポートフォリオの一部として
組み込むことをお勧めします。」

クリスチャン・バハ
創業者兼オーナー

投資家の皆様へ

Preface

投資対象を選定するときには、誰もが優れたパフォーマンスをもたらす資産クラスを探そうとします。その過程で多くの投資家がマネージドフューチャーズ・ファンドに遭遇するでしょう。マネージドフューチャーズ・ファンドは、これまでその利点が十分には認識されていない資産クラスの1つです。

洗練された投資家が以前からマネージドフューチャーズ・ファンドに注目してきた1つの理由は、株式や債券などの伝統的な資産クラス、さらにはヘッジファンド等との相関性が極めて低いという特性にあります。世界中の120種類を超える金融市場とコモディティ市場を対象に幅広く分散投資するマネージドフューチャーズ・ファンドは、それらの市場が上昇するか下落するかにかかわらず、株式市場、債券市場、短期金融市場、通貨市場、そしてコモディティ市場(金、銀、原油、ガソリン、コーヒー、大豆等の市場)の値動きから利益を上げる可能性を持っています。

マネージドフューチャーズ・ファンドは他の資産クラスから独立したパフォーマンスを示すため、ポートフォリオの分散化を増強する理想的な手段となり得ます。投資家はポートフォリオの一部をマネージドフューチャーズ・ファンドに投資することで、ポートフォリオ全体のリターンを高めると同時にリスクを低減する効果を期待できます。

実際、年金ファンドや大学基金などの先進的な機関投資家が、ポートフォリオ内でマネージドフューチャーズ・ファンドへの投資比率を高めています。しかしながら最近まで、マネージドフューチャーズ・ファンドへの最低投資金額が一般的に100万米ドル以上に設定されていたため、ほとんどの個人投資家はこの魅力的な資産クラスに投資することができませんでした。スーパーファンドは業界で初めてこの最低投資金額を引き下げることによって、個人投資家によるマネージドフューチャーズ・ファンドへの投資を可能にしました。このような革新により、スーパーファンドは過去12年間にわたり、マネージドフューチャーズ・ファンド業界の世界最先端の運用会社の1つとして認められてきました。

私は本書を通じてマネージドフューチャーズ・ファンドの利点、特に個人投資家のポートフォリオに対する潜在的な効果を紹介できる機会を持つことを喜ばしく思います。私は多くの個人投資家の皆様がこの隠れた資産クラスの魅力を認識し、スーパーファンドの優れたトレーディング戦略の真髄を十分に理解していただけると確信しています。

敬 具



クリスチャン・バハ
創業者 兼 オーナー



Traditional Investments



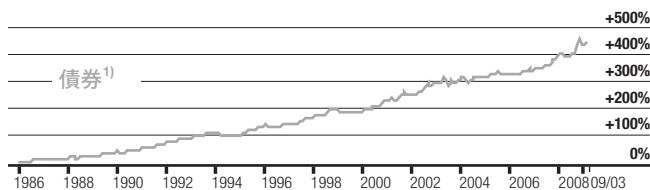
「私にとって、マネージドフューチャーズ・ファンドは
高いリターンを達成するために最適な長期投資手段を意味します。」

クリスチャン・バハ
創業者兼オーナー

複数の資産クラスの比較

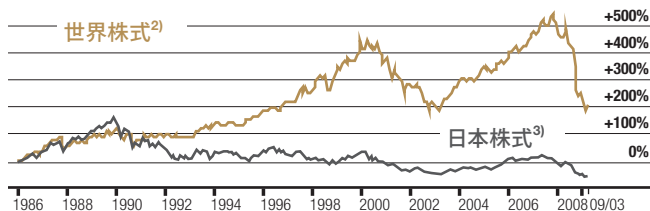
長期的な成果こそが重要：株式や債券に高いリターンを期待する投資家はしばしば比較的低いパフォーマンスに失望することになります。複数の異なる資産クラスを適正に評価するためには、長期的な総合パフォーマンスを比較する必要があります。

債券：一般的に債券は企業や政府といった発行者の負債に相当する資産であり、投資家は固定利率による利子を定期的に取り取ることができます。しかしながら、債券投資によって投資家は発行者の信用リスクにさらされることになります。なお、外国債券については、発行者の信用リスクが高くなる傾向が見られる場合があります。



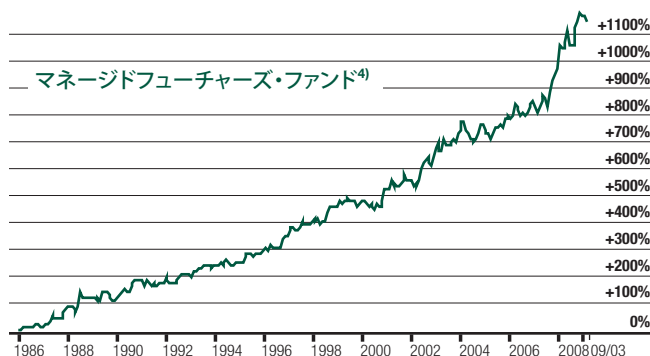
比較的低いリスク
比較的低いリターン

株式：金融市場は一方通行ではなく上下方向への変動を繰り返します。しかしながら、数多くの投資家は、短期的には片方向だけに動く株式のような資産がもたらす損失によって既存の利益が簡単に消えてしまうという厳しい事実を学んできました。大型の優良株でさえも短期的に急落することがあります。



比較的高いリスク
中程度のリターン

マネージドフューチャーズ・ファンド：株式や債券のような従来の資産クラス、さらにはヘッジファンド等との相関が非常に低く、売り買い両方のポジションを駆使するマネージドフューチャーズ・ファンドは、上げ相場でも下げ相場でも利益を上げる可能性を持っています。その結果、個人投資家はポートフォリオの総合的なパフォーマンスを向上させるために、マネージドフューチャーズ・ファンドなど、絶対リターンが得られる可能性のある投資にますます傾注しています。



中程度のリスク
比較的高いリターン

1) JPMorgan 米国債指数; 2) MSCI 世界株価指数; 3) 日経 225; 4) CASAM CISDM CTA Equal Weighted (Index); 1986年1月~2009年3月
出典: TeleTrader





Managed Futures Funds



「スーパーファンドの過去13年間にわたる成功の秘訣：
利益の最大化よりも資産価値の保護を重視すること」

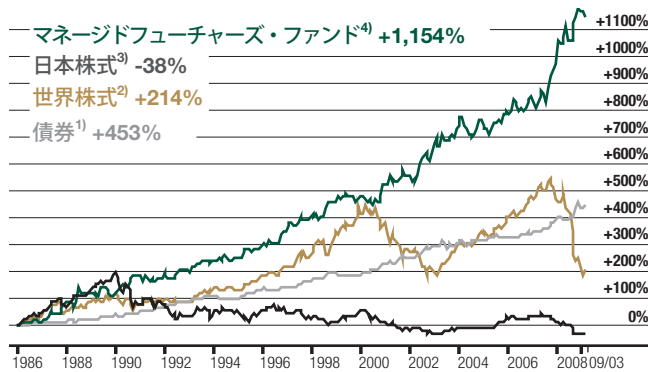
クリスチャン・ハルペル

マネージドフューチャーズ・ファンドの利点

Managed Futures Funds

スーパーファンドが採用するマネージドフューチャーズ・ファンドは長期間にわたって非常に高いパフォーマンスが得られる可能性のある資産クラスの1つです。マネージドフューチャーズ・ファンドの主要な利点は、金融市場と商品市場を対象に幅広く分散投資すること、売り買い両方のポジションを駆使すること、株式や債券のような従来の資産クラス、さらにはヘッジファンド等との相関が非常に低いことです。マネージドフューチャーズ・ファンドは、世界中の規制された市場で取引される流動性の高い標準先物契約を投資対象とします。特定のベンチマーク（株価指数など）を基準としてパフォーマンスが評価される従来の資産クラスとは異なり、マネージドフューチャーズ・ファンドは上げ相場でも下げ相場でも常に平均を超えるリターン（絶対リターン）を達成することを目指します。

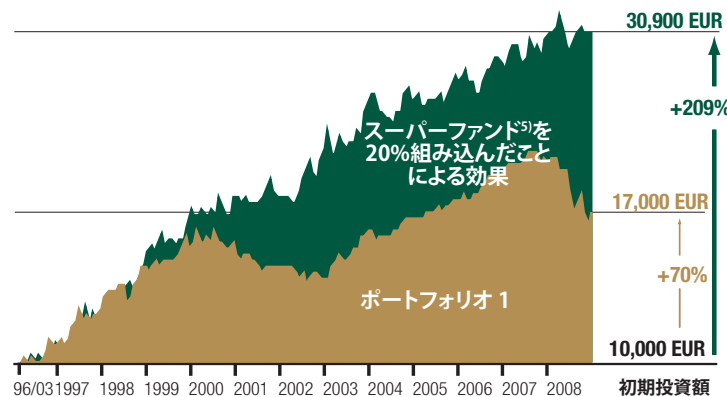
マネージドフューチャーズ・ファンド
その利点が十分には認識されていない資産クラス



比較的低いリスクで
比較的高いリターンを実現

1) JPMorgan 米国債指数; 2) MSCI 世界株価指数; 3) 日経 225; 4) CASAM CISDM CTA Equal Weighted (Index); 1986年1月～2009年3月
出典: TeleTrader

画期的なポートフォリオ投資理論で1990年にノーベル経済学賞を受賞した米国の著名な経済学者ハリー・マーコウィッツ氏が提言した重要な原理の1つは「**すべての卵を一つの籠に入れないこと**」です。ハリー・マーコウィッツ氏は、複数の異なる資産クラスからなる分散化されたポートフォリオの構築によって、リスクを低減しながら比較的高いリターンを達成できることを実証しました。



ポートフォリオの最適化:
ポートフォリオの20%をマネージドフューチャーズ・ファンドへの投資に割り当てると、投資家はポートフォリオ全体のリスクを低減しながら、長期的なリターンを高めることが期待できます。

5) Superfund Q-AG (申込み期間が既に終了したファンド)
ポートフォリオ 1: 債券 50%、株式 50% からなる仮想ポートフォリオの過去の運用成果
ポートフォリオ 2: 債券 40%、株式 40%、Superfund Q-AG 20% からなる仮想ポートフォリオの過去の運用成果
これらの仮想ポートフォリオの過去の運用成果及び仮想ポートフォリオに含まれる各資産の過去の運用成果は、それらの将来の運用成果を示唆または予想するものではありません。
出典: TeleTrader





Superfund Worldwide



Hong Kong



New York



Tokyo



Vienna

Amsterdam

Berlin

Chicago

Dubai

Frankfurt

Graz

Hong Kong

Innsbruck

Linz

Luxembourg

Milano

Monaco

Montevideo

New York

Paris

São Paulo

Singapore

Stockholm

Sydney

Tokyo

Warsaw

Vienna

Zurich

スーパーファンドは世界大手の
マネージドフューチャーズ・ファンド
運用会社の1つです。

スーパーファンドのグローバル展開

クリスチャン・バハがオーストリアのウィーンに1995年に創立したスーパーファンドは、世界大手のマネージドフューチャーズ・ファンド運用会社の1つに成長しました。1996年に個人投資家向けに最初マネージドフューチャーズ・ファンドを販売して以来、スーパーファンドは機関投資家と同等の高いクオリティを持つ資産クラスを個人投資家が享受できるように、常に先進的なファンドを提供してきました。スーパーファンドの各ファンドが世界的な成功を収めるに伴い、世界の各地に新しいオフィスが開設され、国際的な展開が広範に推進されてきました。今日、スーパーファンドは世界19ヶ国にオフィスを設置しています(2009年5月末)。

- ▶ 1995年に創立
- ▶ 約13年超の実証済みのトラック・レコード
- ▶ 貯蓄プラン型マネージドフューチャーズ・ファンドを提供した最初の運用会社
- ▶ 監査法人：KPMG、Ernst & Young、Deloitte & Touche

概要

- ▶ スーパーファンドのファンドは、オーストリア、フランス、ドイツ、イタリア、日本、米国、ルクセンブルグ、オランダ、ポーランド、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、スイス、およびオーストラリアで販売認可済み。

世界各地での認可





Superfund Milestones



スーパーファンドは1995年、オーストリアのウィーンで、
クリスチャン・バハ（Christian Baha）によって創立されました。

これまでの主な軌跡

Supertfund Milestones

▶ 1996

初のファンド Superfund Q-AG* (戦略A) をオーストリアで販売開始。

▶ 1997

スーパーファンド独自のトレーディング・システムを洗練・強化し、完全に自動化されたトレーディング手法を確立。

▶ 1998

ロイターのファンド・データベースLipperが“レバレッジ/ヘッジ：マルチアセット”クラスの世界第1位としてSuperfund Q-AG* (年率リターン+62.6%) を選定

▶ 1999

3月、スーパーファンドのSuperfund Q-AG* が+81.9%の総合リターンを達成。

▶ 2000

マネージドフューチャーズ・ファンドSuperfund GCT USD* (戦略B) の販売を開始し、初年度+40.2%の総合リターンを実現。

▶ 2001

フランクフルトとチューリッヒにスーパーファンドのオフィスを開設。SuperfundCayman* (戦略C) の販売を開始。

▶ 2002

香港とニューヨークにスーパーファンドのオフィスを開設。米国の個人投資家向けの最初のファンドがSECによる認可を受ける。初の貯蓄型ファンドの提供を開始。

▶ 2003

ABN AMRO銀行を保証人とし、Superfund Garant IV*を機関投資家向けに販売。

▶ 2004

最初のスーパーファンド・インベストメント・センターをオーストリア国内に開設。さらに、アムステルダム、モンテビデオ、サンパウロにスーパーファンドのオフィスを開設。

▶ 2005

ワルシャワ、シンガポール、ストックホルムにスーパーファンドのオフィスを開設。ニューヨーク5番街にスーパーファンド・インベストメント・センターを開設。

▶ 2006

3月8日、スーパーファンドはウィーンで10周年記念を祝う。ドイツの前首相ゲルハルト・シュレーダー氏をはじめとする数多くの著名人がスーパーファンドを祝福。ドバイと東京にオフィスを開設。

▶ 2007

パリにオフィスを開設。

▶ 2008

シドニーにオフィスを開設。

▶ 2009

ミラノにオフィスを開設。

1) これらのファンドは申し込み期間が既に終了したファンドです。過去のパフォーマンスは、スーパーファンドの他のファンドから生じる将来の成果を示唆・保証するものではありません。





Awards & Rankings



輝かしい実績の記録 — 「ウォールストリート・ジャーナル」や
「スタンダード・プアーズ5つ星」など、これまでに
40種類以上の著名な賞や上位ランキングを獲得

Standard & Poor's

Wall Street Journal

MAR

MAR Hedge

EuroHedge

International Traders Research CTA Rankings Report

Option Alternative Investment Awards

Lipper Overseas Fund Rating

Barclay

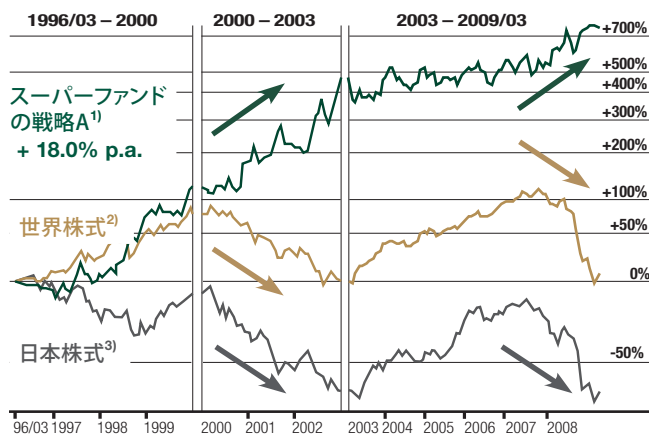
European Hedge Funds Review

スーパーファンドの投資戦略

スーパーファンドの投資戦略の主な目的は、ポートフォリオの総合的なパフォーマンスを最も効率的な方法で高めることです。スーパーファンドの各ファンドは分散投資と厳密でシステマティックなリスク管理手法に基づき、上げ相場でも下げ相場でも平均を超えるリターンを追求しようと試みます。

様々な市場環境のもとで利益を追求

世界中の市場は上昇トレンドと下降トレンドを循環的に繰り返しています。したがって、主に株式や債券の買いポジションのみによる従来型の投資ポートフォリオは、下げ相場で十分なリターンを上げることができません。経験則によれば、下げ相場では既存の利益が短期間で簡単に消えてしまいます。しかしながら、マネージドフューチャーズ・ファンドは市場の上昇/下落に関係なく利益を達成する可能性を持っているため、様々なポートフォリオで重要な役割を果たすことができます。

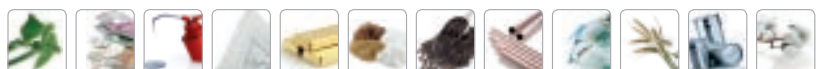


1) Superfund Q-AG (申込み期間が既に終了したファンド); Superfund Q-AGの過去の運用成果は、スーパーファンドの他のファンドから生じる将来の運用成果を示唆または予想するものではありません。
2) 世界株式 (MSCI 世界株価指数)
3) 日本株式 (日経 225)
1996年3月~2009年3月; 対数目盛り; 出典: TeleTrader

絶対リターン手法

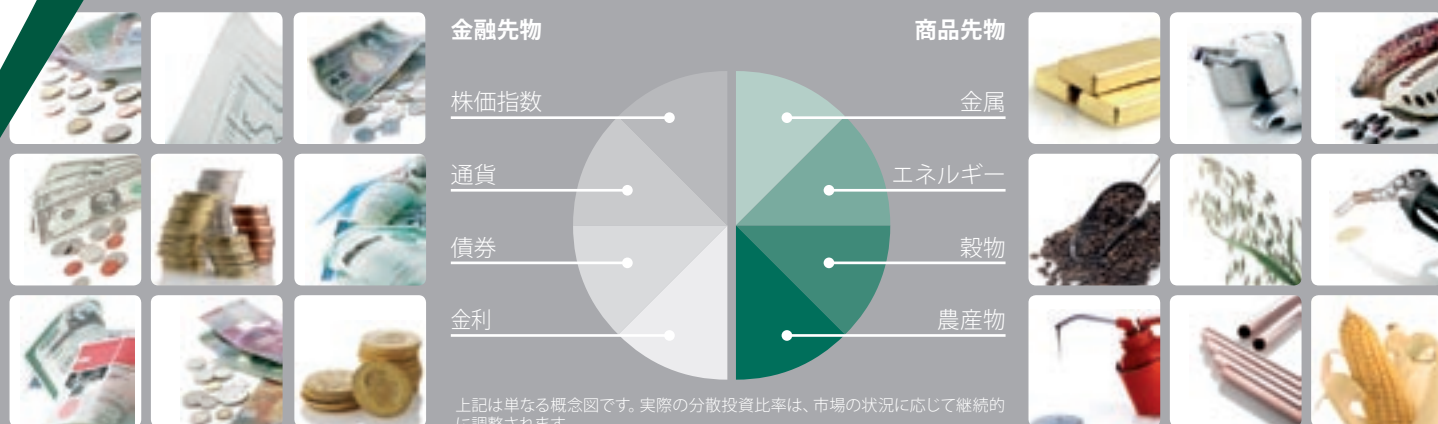
買いポジションのみからなる従来の大部分のファンドについては、特定のベンチマーク (S&P 500 指数や FTSE 100 指数など) を基準としてパフォーマンスが評価されます。このような従来型ファンドのうち、約 80% のファンドは上げ相場においてベンチマークを上回るパフォーマンスを達成できない場合が多くあります。また、ベンチマークが下落するときには、残り 20% の「優良な」ファンドも下げ相場に追従するため、投資家にプラスのリターンを提供できない可能性があります。

これに対してマネージドフューチャーズ・ファンドは「絶対リターン手法」を採用しており、どのような市場環境においても常にプラスのパフォーマンスを投資家に提供することを目指します。つまり、マネージドフューチャーズ・ファンドはベンチマークを基準にしないで、高いリターンの得られる可能性が非常に大きいときに売り買いのポジションを構築します。そして厳密でシステマティックなリスク管理手法に基づき、それらの短期的な収益機会をまとめて、一貫したプラスのパフォーマンスを目指します。





Superfund Strategy



「市場の行方は市場に聞くこと。明確な収益機会が認識された場合のみ投資を行うこと。リスクを分散させて損失額を即座に制限すること。これらが収益を得るための基本原則です。」

クリスチャン・バハ
創業者兼オーナー

スーパーファンドの投資戦略

スーパーファンドのすべてのファンドは、自社開発の完全自動化トレーディング・システムによって運用されています。このトレーディング・システムでは、世界中の120種類を超える先物市場を取引対象としています。スーパーファンドの実証済みのトレーディング戦略は、下記の4つの基本方針によって支えられています。これらの方針が相互に連携して、スーパーファンドの強力なトラック・レコードを形成してきました。



スーパーファンドの各ファンドは、世界中の数多くの金融センターで先物契約を取引しています。株価指数、債券、通貨などの金融先物のほかに、天然ガス、金、銀、コーン、ココア、綿花などの商品先物も取引対象となっています。この分散投資により、相互に独立した動きを示す数多くの異なる市場にリスクが確実に分散されるほか、利益を上げる可能性のある取引機会の数が増えます。

分散投資

スーパーファンドのトレーディング・システムでは、多岐に渡るテクニカル指標とヒストリカル・データに基づき、高い収益チャンスをもたらす可能性のある価格パターンを見つけ出します。これらの価格パターンに基づき、トレーディング・システムが自動的に売買注文を発行します。スーパーファンドの技術専門家によって設計/プログラミングされた完全自動化トレーディング・システムは、取引に関する意思決定から人間の感情移入による誤算を排除します。

テクニカル分析

スーパーファンドのトレーディング・システムは「トレンド追従（順張り）原則」に基づいています。トレンドの周期は数日間から数ヶ月間と様々ですが、明確なトレンドが続く限り、価格の上昇パターンまたは下降パターンに追従して収益機会を狙います。収益に繋がるトレンドを見つけ出し、上昇トレンドまたは下降トレンドに追従して利益を上げること（トレンドを味方に付けること）が重要なのです。そうすればトレンドが続く限り、利益は増加してゆきます。

トレンド・フォロー戦略

スーパーファンドの投資戦略で最も重要な要素となるのは、一貫したリスク管理です。リスクを制御するために、個々の取引ポジションの金額を厳密に制限し、損失を早期に切り捨てます。各取引の初期リスクの上限は、ファンドの総資産の最高2%（戦略Cの場合）に事前に設定されます。リスクの総量が毎日継続的に監視され、損失は逆指し値注文によって自動的に抑えられます。

リスク管理





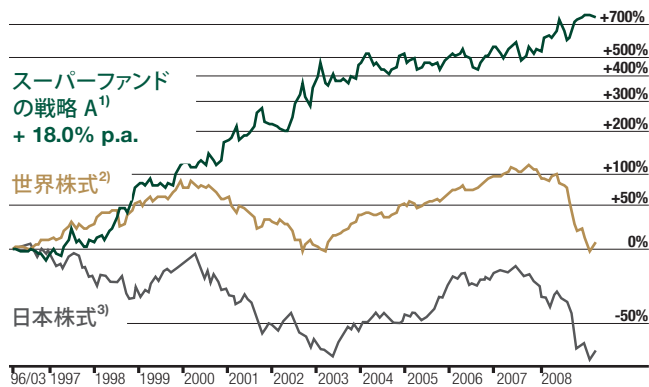
Superfund Results



スーパーファンドの投資戦略の有効性は長期間にわたる良好なパフォーマンスによって明確に物語られています。

スーパーファンドの運用実績

スーパーファンドのすべてのファンドは、自社開発の完全自動化トレーディング・システムによって運用されています。スーパーファンドの戦略Aは、1996年3月の運用開始から2008年12月末までに、年率平均で約18%のリターンを達成しました。数多くの株式市場が厳しい下降トレンドにあった2000年から2002年についても、スーパーファンドの各ファンドは2桁のリターンを上げています。

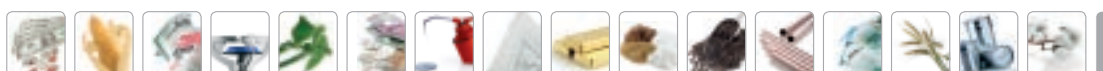


1) Superfund Q-AG (申込み期間が既に終了したファンド); Superfund Q-AGの過去の運用成果は、スーパーファンドの他のファンドから生じる将来の運用成果を示唆または予想するものではありません。
 2) 世界株式 (MSCI 世界株価指数)
 3) 日本株式 (日経 225)
 1996年3月~2009年3月; 対数目盛り; 出典: TeleTrader

運用実績

1996	-	10.3 %
1997	+	20.7 %
1998	+	62.5 %
1999	+	25.3 %
2000	+	23.1 %
2001	+	18.8 %
2002	+	38.4 %
2003	+	24.3 %
2004	+	10.9 %
2005	-	3.3 %
2006	+	10.4 %
2007	-	1.8 %
2008	+	35.4 %
Total	+	776.4 %

ご注意:過去のパフォーマンス実績は、国内公募「スーパーファンド・ジャパン」の将来の成果を保証または示唆するものではありません。パフォーマンスの値は、販売時の申込手数料を除くすべてのファンド間接費用(管理報酬や成功報酬等の各種報酬)を差し引いた後の純資産価額増減額(税引前の数値)に基づいて計算されます。





Superfund Funds



従来のポートフォリオにマネージドフューチャーズ・ファンドを追加することによって理想的な分散効果が得られ、リターンの増加とリスクの減少を期待できます。

スーパーファンド・日本の概要

Supertfund Funds

スーパーファンド

A

The Traditional - 伝統型

10万円以上
1,000米ドル以上

スーパーファンド戦略Aは、マネージドフューチャーズの世界への簡便な入り口を投資家に提供するものです。中期(少なくとも3年間)以上の投資期間を前提とする投資家は、戦略Aから比較的良好なリターンを得られる可能性があります。

ポジションあたりの初期リスク：最大 1 %
想定ボラティリティ範囲：20 ~ 30 %
リスク/リターンの特性：中程度

スーパーファンド

B

The Dynamic - ダイナミック

100万円以上
10,000米ドル以上

スーパーファンド戦略Bは、既存のポートフォリオをマネージドフューチャーズで強化したいと思う経験豊かな投資家にとって理想的なソリューションです。戦略Bは戦略Aよりもダイナミックでリスクが高いため、戦略Aよりも高いリターンが得られる可能性があります。

ポジションあたりの初期リスク：最大 1.5 %
想定ボラティリティ範囲：30 ~ 40 %
リスク/リターンの特性：比較的高い

スーパーファンド

C

The Aggressive - 積極的

1,000万円以上
100,000米ドル以上

スーパーファンド戦略Cは、既存のポートフォリオに高いリターン特性を追加することを希望するプロの投資家向けに設計されています。戦略Cは3種類のスーパーファンド戦略の中で最も積極的でリスクが高い一方、高いリターンを得る可能性を秘めています。

ポジションあたりの初期リスク：最大 2 %
想定ボラティリティ範囲：40 ~ 50 %
リスク/リターンの特性：高い

ファンドの名称

スーパーファンド・ジャパン

外国投資信託受益証券の形態等

無記名式無額面受益証券(オープン・エンド型)

スーパーファンド・ジャパンはケイマン諸島の法律に基づき、スーパーファンド・ジャパン・トレーディング(ケイマン) リミテッド(以下「管理会社」と表記)及びUBSファンド・サービスズ(ケイマン)リミテッド(以下「受託会社」と表記)が署名したユニット型投資信託証書によって設立されたオープンエンド型アンブレラ・ユニット・トラスト(契約型オープンエンド投資信託)です。

スーパーファンド・ジャパンは、リターン/リスク特性(投資戦略)と最小投資金額が異なる3つのサブファンドA, B, Cに分割されず(各サブファンドの特性は左記を参照)。各サブファンドには円建てクラスと米ドル建てクラス及び円ヘッジ有クラスがあり、各クラスは原則として2ヶ月ごとの各発行日にシリーズ発行されます。

サブファンド	クラス	申込単位
スーパーファンドA 伝統型戦略	円建てクラス	1,000口(100,000円又は1,000米ドル相当) 以上100口単位
	米ドル建てクラス	
	円ヘッジ有クラス	
スーパーファンドB ダイナミック戦略	円建てクラス	10,000口(1,000,000円又は10,000米ドル相当) 以上100口単位
	米ドル建てクラス	
	円ヘッジ有クラス	
スーパーファンドC 積極的戦略	円建てクラス	100,000口(10,000,000円又は100,000米ドル相当) 以上100口単位
	米ドル建てクラス	
	円ヘッジ有クラス	

(注) 販売会社は、管理会社と協議の上、上記の申込単位の一部又は全部を変更することがあります。

受益証券の発行価格：円建てクラス及び円ヘッジ有クラスは1口あたり100円。米ドル建てクラスは1口あたり1米ドル。





スーパーファンド・ジャパンの運用管理構造

Superfund Funds

スーパーファンド・ジャパン(フィーダーファンド)の3つのサブファンドA,B,Cの資産は管理会社により運用され、管理会社は各サブファンドの資産のすべてをスーパーファンドSPC(以下「マスターファンド」と表記)のシェア(株式)に投資します。

マスターファンドの3つのサブファンドA,B,Cは、それぞれの資産の一定割合(サブファンドAは約50%、Bは約75%、Cは約100%)をSuperfund Cayman Master(以下「アンダーライング・マスターファンド」と表記)のシェアに投資し、残りの資産をキャッシュ運用(預貯金、短期金融市場証券、米国財務省債券、各国市場の上場債券、OECD加盟国やEU機関の発行する公債などへの投資)に割り当てます。

マスターファンドおよびアンダーライング・マスターファンドは、ケイマン諸島で個別ポートフォリオを運用する免税会社として登録された法人であり、フィーダーファンド(3つのサブファンド)のための投資活動を行います。

アンダーライング・マスターファンドは、スーパーファンド・トレーディング・マネジメント・インク(以下「アンダーライング・マスターファンド投資顧問会社」と表記)の投資助言に基づき、アンダーライング・マスターファンド投資顧問会社が選定・管理する自動化トレーディング・システムを使用してすべての投資活動を行います。

キャピタル・パートナーズ証券株式会社は、管理会社によって代行協会員に選任されています。(以下かかる立場としての同社を「代行協会員」と表記)

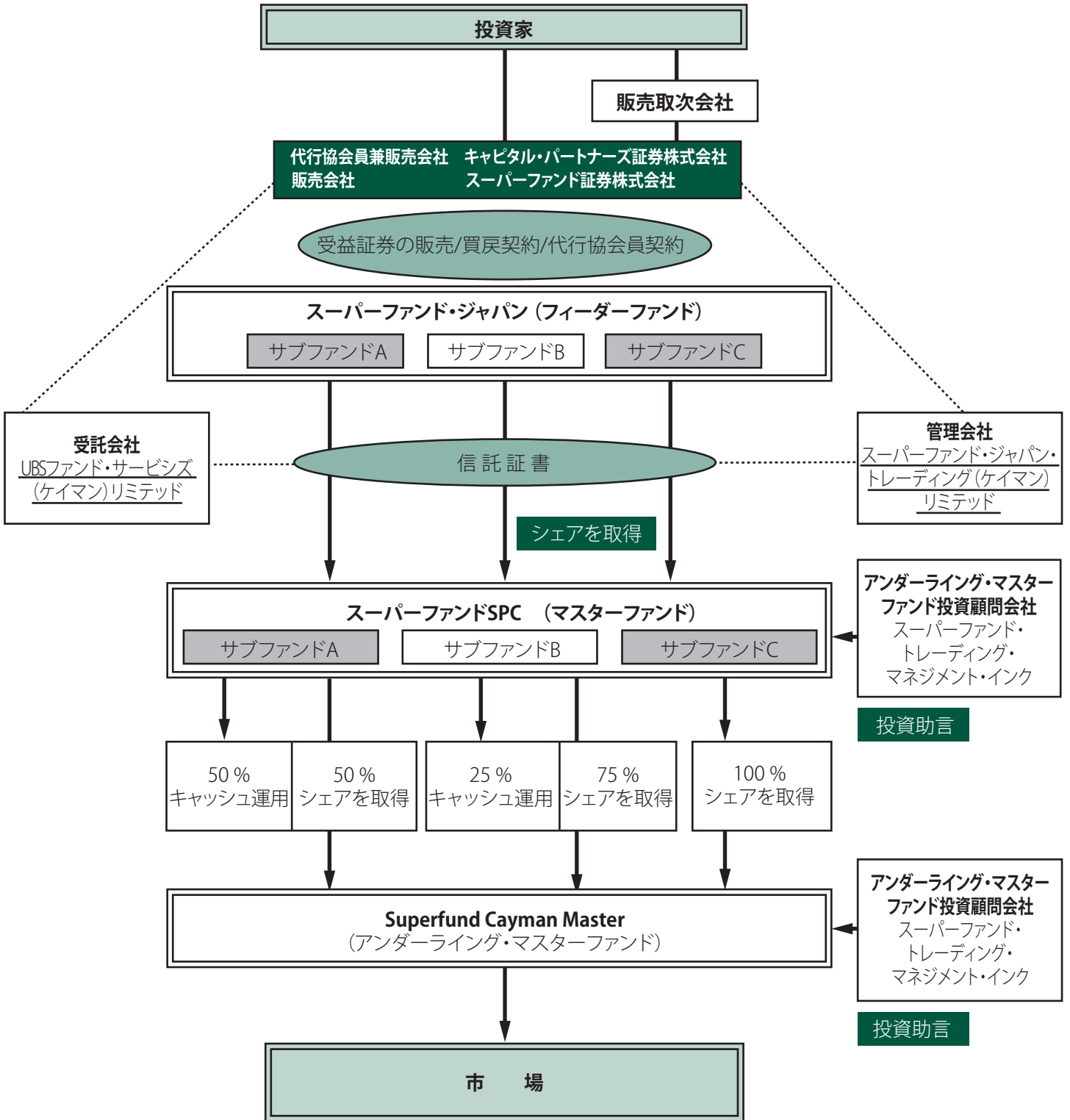
日本における受益証券の取扱い等は、キャピタル・パートナーズ証券株式会社及びスーパーファンド証券株式会社(以下「販売会社」と表記)が行います。販売会社は、必要に応じて各々販売取次会社を追加選定することがあります。

(スーパーファンド・ジャパンの構造と関係法人については、次ページの図を参照してください。)

スーパーファンド・ジャパンの概要

Supertfund Funds

スーパーファンド・ジャパンの構造と関係法人





スーパーファンド・ジャパンの概要

Supertund Funds

スーパーファンド・ジャパンへの投資に伴うリスク

当ファンドは価格変動性を伴う金融商品です。市況（金利、為替相場、金融商品の相場等の変動）により当ファンドの1口当たりの純資産額が元本を下回り、損失が生ずることとなるおそれがあります。リスクの詳細は目論見書をご覧ください。

・金利リスク

金利の上昇はアンダーライニング・マスターファンド及びマスターファンドが保有する債券等の価値を減少させる可能性があります。一方、金利の下落時には、アンダーライニング・マスターファンド及びマスターファンドが得べき利息収入が減少する可能性があります。アンダーライニング・マスターファンド及びマスターファンドが投資する固定利付債券は長期金利と短期金利の差によるリスクに曝されています。またアンダーライニング・マスターファンド及びマスターファンドは変動利付証券に投資することができます。これらの投資商品の価値はかかる金利の絶対値又はかかる金利の変動に関する市場の予測に密接に関係します。これらにより当ファンドの投資対象であるマスターファンドのシェアの価値が下落し、当ファンドの1口当たりの純資産額が減少し、投資家に損失が生ずる可能性があります。

・為替リスク

当ファンドのサブファンドの資産は米ドル建てのマスターファンドのサブファンドに投資され、さらにその資産の一部がアンダーライニング・マスターファンドの米ドル建てシェアに投資されます。マスターファンドは米ドル建てですが、その資産（アンダーライニング・マスターファンドのシェアに投資されていないもの）を、米ドル以外の通貨建ての金融商品、若しくは米ドル以外の通貨を参照してその価格が決定することのある金融商品に投資できます。アンダーライニング・マスターファンドの基準通貨は米ドルですが、とりわけ米ドル以外の通貨建ての債券及び株式並びに米ドル以外の通貨を参照してその価格が決定するその他の金融商品に投資できます。

マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドの資産価値は、米ドルの為替レートの変動及び各国の市場及び通貨におけるマスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドの投資対象の価格変動に伴い変動します。

マスターファンドに投資する当ファンドも、かかる変動により当ファンドの1口当たりの純資産額が減少し、投資家に損失が生ずる可能性があります。

加えて、米ドル建てクラスの受益証券は、為替相場が変化することにより、為替相場が円高になる過程では当該受益証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では当該受益証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、買戻し時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれ

あります。

円ヘッジ有クラスの純資産価値額の計算にあたっては、米国と日本の金利差に基づくヘッジコストや為替取引コスト等の追加コストが差し引かれます。なお、適用される投資戦略および投資制限等により米ドルに対する完全なヘッジを実現できない可能性があります。

・その他の市場リスク

アンダーライニング・マスターファンドは、取引所に公式に上場された各種金融先物及び商品先物等、又は規制された市場において相対で取引される各種金融先物及び商品先物等に投資します。

これらの各種金融先物及び商品先物等の相場の変動によりマスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドの資産価値が変動します。

また、アンダーライニング・マスターファンドは一定の投資制限のもとで空売りを行うことがあります。空売りは、理論上、証券の市場価格が無制限に上昇するリスクを伴い、空売りのために借入れた証券は、後に市場での購入により返却する必要があるため、かかる証券の市場価格の上昇はすべて、損失につながることとなります。

マスターファンドに投資する当ファンドも、かかる変動又は損失により1口当たりの純資産額が減少し、投資家に損失が生ずる可能性があります。

・信用リスク

マスターファンド又はアンダーライニング・マスターファンドによる取引の相手方の財産の状況の変化によるデフォルト（債務不履行）が生じた場合又はそれが予想される場合には、これらの取引に係るマスターファンド又はアンダーライニング・マスターファンドの資産が変動します。マスターファンドに投資する当ファンドの1口当たりの純資産額も、かかる変動により減少し、投資家に損失が生ずる可能性があります。

運用報告および情報開示

スーパーファンド・ジャパンの各シリーズの純資産価値額は、受託会社によって毎月計算され、代行協会によって日本証券業協会に報告され、受益権者に開示されます。なお、純資産価値額は、申込手数料を除くすべての間接費用（管理報酬や成功報酬などの各種報酬）を差し引いた後の資産評価額に基づいて計算されます。

受託会社は、受益証券の純資産価値額を明記した月次の計算書及びファンドの年次の運用報告書を販売会社に対して提出します。監査済財務諸表を含むファンドの年次報告書、及び未監査の財務諸表を含む半期報告書は、証券取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）で随時開示されます。

販売会社及び販売取次会社は、法令に従って、取引残高報告書及び年次運用報告書を受益権者に交付します。

スーパーファンド・ジャパン お申し込みメモ

Supertfund Funds

ファンドの名称：

スーパーファンド・ジャパン

形態：

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託(円建て、米ドル建て)の無記名式無額面受益証券

受益証券の発行日：

各申込期間終了後の翌月の最初のファンド営業日(ファンド営業日は、土曜日、日曜日以外の東京、ニューヨーク及びケイマン諸島における通常の銀行営業日)にシリーズ発行

受益証券の発行価格：

サブファンド	クラス	発行価格
スーパーファンドA	円建てクラス	1口100円
	米ドル建てクラス	1口1米ドル
	円ヘッジ有クラス	1口100円
スーパーファンドB	円建てクラス	1口100円
	米ドル建てクラス	1口1米ドル
	円ヘッジ有クラス	1口100円
スーパーファンドC	円建てクラス	1口100円
	米ドル建てクラス	1口1米ドル
	円ヘッジ有クラス	1口100円

(注) 各シリーズの受益証券は、上記と同じ発行価格で発行されます。

申込単位：

サブファンド	クラス	申込単位
スーパーファンドA	円建てクラス	1,000口(100,000円又は1,000米ドル相当)以上100口単位
	米ドル建てクラス	
	円ヘッジ有クラス	
スーパーファンドB	円建てクラス	10,000口(1,000,000円又は10,000米ドル相当)以上100口単位
	米ドル建てクラス	
	円ヘッジ有クラス	
スーパーファンドC	円建てクラス	100,000口(10,000,000円又は100,000米ドル相当)以上100口単位
	米ドル建てクラス	
	円ヘッジ有クラス	

(注) 販売会社は、管理会社と協議の上、上記の申込単位の一部又は全部を変更することがあります。

申込期間：

- 第22シリーズ
2009年6月25日から2009年8月25日まで。
- 第23シリーズ
2009年8月26日から2009年10月26日まで。
- 第24シリーズ
2009年10月27日から2009年12月18日まで。
- 第25シリーズ
2009年12月19日から2010年2月22日まで。
- 第26シリーズ
2010年2月23日から2010年4月26日まで。
- 第27シリーズ
2010年4月27日から2010年6月24日まで。

以降、2ヶ月単位で継続募集予定

(注) 管理会社と受託会社の協議・裁量により、受託会社は各シリーズを第1シリーズ(2006年3月1日発行分)に統合する場合があります。

(注) 販売会社及び販売取次会社は、どのクラスまたはシリーズを自社が取扱うかを選択する権利を留保しており、各クラスまたは各シリーズの中には、販売会社および販売取次会社が申込を受け付けられないものもありません。

払込期日：

各申込期間の終期が属する月の最後のマスターファンド営業日(土曜日、日曜日以外のニューヨーク及びケイマン諸島における通常の銀行営業日)の3ファンド営業日前の日

申込手数料：

各シリーズの購入申込金額に上限5.25%(税込み)の申込手数料率を乗じた額(申込手数料率は販売会社または販売取次会社が上限の範囲内で決定します。)

換金性：

受益証券の発行後、毎月末のマスターファンド営業日(評価日)を基準として、ファンドによる買い戻しが可能(購入後、1年以内の買い戻しについては、買い戻し価格の2%の買い戻し手数料が課せられる場合があります。)

スーパーファンド・ジャパン(フィーダーファンド)における手数料¹⁾

管理報酬：

純資産価額の年率0.1%

代行協会員報酬：

純資産価額の年率0.5%

受託会社報酬：

純資産価額の年率 0.08%(上限)；所定の最低固定報酬あり

マスターファンドとアンダーライニング・マスターファンドにおける手数料¹⁾

管理報酬：

純資産総額の年率4.2%

成功報酬：

純資産価額の増加額のうち、サブファンドAは25%、サブファンドBは30%、サブファンドCは35%(ただし、ハイウォーターマーク方式を適用)

販売報酬：

日本において販売された受益証券の純資産価額の年率1.8%

事務管理報酬：

純資産価額の年率 0.18%(上限)

注記：純資産価額は、申込手数料を除くすべての間接費用(上記の管理報酬や成功報酬などの各種報酬)を差し引いた後の資産評価額に基づいて計算されます。

関係法人

管理会社：

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング(ケイマン)リミテッド

受託会社：

UBSファンド・サービスズ(ケイマン)リミテッド

代行協会員：

キャピタル・パートナーズ証券株式会社

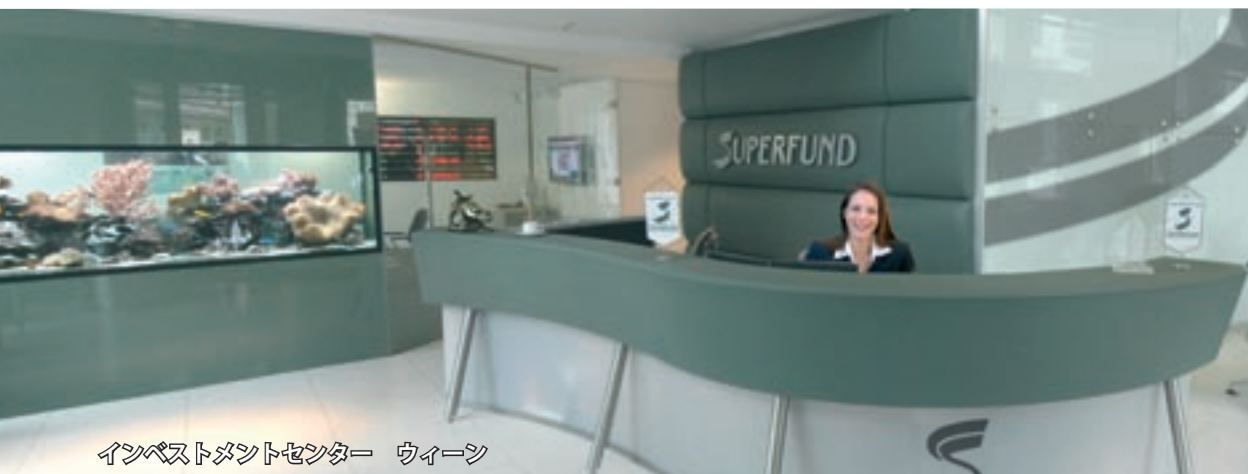
目論見書の配布場所：

販売会社及び販売取次会社

注：上記は商品の概要であるため、詳細については目論見書を参照してください。

1) 手数料等の合計額について：種類ごとの手数料等の合計額及びその上限額並びにこれらの計算方法の概要については、種類ごとの手数料等のうちに当該種類の手数料等の金額及び上限額並びにこれらの計算方法を記載できないものがあるほか、多種多様なもの(目論見書で参照)があるため、記載することができません。





インベストメントセンター ウィーン

SINCE



1996

■ 販売取次会社の概要

商号等	ひまわり証券株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第150号（金融商品取引業）
本店所在地	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目11番1号
加入協会	日本証券業協会，社団法人金融先物取引業協会
資本金	2,000百万円(2009年1月1日現在)
主な事業	金融商品取引業
設立年月	2002年2月14日
連絡先	03-5400-3456(代表)
	本資料のお問合せ先：0120-86-9686（08:00～18:00/土日祝日除く）

■本資料は本ファンドの代行協会員により作成された販売用資料であり、金融商品取引法に基づく法定の開示資料ではありません。■本資料は信頼できる情報に基づき作成しておりますが、その内容の正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本資料内で示された過去の実績等は、将来の市場環境やファンドの値動き等を示唆・保証するものではありません。■本ファンドは価格変動のある有価証券等に投資をしますので、ファンドの1口当たりの純資産価額の変動により投資元本を割り込む恐れや、場合によっては投資金額全額を失う恐れがあります。また、ご負担いただく各種手数料等がございます。投資のご判断の際には、必ず目論見書等を十分にご確認の上、ご自身のご判断をお願いいたします。■本ファンドの発行する外国投資信託受益証券の取得は、その投資元本が保証されたものではなく、預金保険機構の保護対象ではありません。

スーパーファンド・ジャパン 販売用資料(補足説明資料)に関する変更事項

本文書は、スーパーファンド・ジャパン(以下「当ファンド」)の「販売用資料(補足説明資料) 2009.06」の変更箇所を記載したものです。投資家の皆様におかれましては、お手数ではございますが、同販売用資料の該当部分を本文書に従って読み替えて下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、今回の変更につきましては、当ファンドのマスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの名称のみの変更となっており、当ファンドの運用方針や受益証券の権利等に影響を及ぼすものではございません。詳しくは、当ファンドの「目論見書 訂正事項分」をご参照ください。

変更箇所:

< 20 ページの第 1 段落 >

マスターファンドの名称の変更

変更前: スーパーファンド SPC(以下「マスターファンド」と表記)

変更後: スーパーファンド・グリーン SPC(以下「マスターファンド」と表記)

< 20 ページの第 2 段落 >

アンダーライング・マスターファンドの名称の変更

変更前: Superfund Cayman Master(以下「アンダーライング・マスターファンド」と表記)

変更後: スーパーファンド・グリーン・マスター(以下「アンダーライング・マスターファンド」と表記)

< 21 ページの図の中段 >

マスターファンドの名称の変更

変更前: スーパーファンド SPC(マスターファンド)

変更後: スーパーファンド・グリーン SPC(マスターファンド)

< 21 ページの図の下段 >

アンダーライング・マスターファンドの名称の変更

変更前: Superfund Cayman Master

変更後: スーパーファンド・グリーン・マスター

以 上